

経鼻弱毒生インフルエンザワクチン【フルミスト点鼻薬】（説明書）

1. インフルエンザとは

「インフルエンザウイルス」に感染した人の咳やくしゃみのしぶき（飛沫）に含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛沫感染」と、ウイルスが付着した手で口や鼻に触ることによる「接触感染」により感染します。通常、初冬から春先にかけて流行します。

典型的なインフルエンザの症状は、突然の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などで、のどの痛み、咳、鼻水などもみられます。普通の風邪に比べて全身症状が強いのが特徴です。小児では中耳炎の合併、熱性けいれんや気管支喘息の誘発など、重症化することもあります。

2. 経鼻弱毒生インフルエンザワクチンの有効性

本ワクチンはインフルエンザウイルスを弱毒化した生ワクチンです。接種後に体の中で増えたワクチンウイルスに対する免疫ができ、インフルエンザウイルスの感染を予防します。

3. 経鼻弱毒生インフルエンザワクチン接種の副反応

本ワクチンの接種に伴う副反応として、鼻閉・鼻漏、咳嗽、口腔咽頭痛、頭痛などがみられることがあります。また重い副反応としてショック、アナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管性浮腫など）や、脳神経障害、脳炎、けいれん（熱性けいれん含む）、ギラン・バレー症候群（手足に力がはいらない、しびれ、食べ物が飲み込みにくい、呼吸が苦しいなど）、血管炎（発熱、頭痛、倦怠感、紫斑、紅斑など）が報告されています。

4. 予防接種を受ける前に

（1）予防接種を受けることができない方

- ①明らかに発熱のある方（一般的に体温が37.5℃以上の場合）
- ②重篤な急性疾患に罹っていることが明らかな方
- ③過去に本ワクチンに含まれる成分によって、アナフィラキシー（通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性のひどいじんましんなどを伴う思いアレルギー反応）を起こしたことがある方
- ④明らかに免疫機能に異常のある疾患をお持ちの方、免疫抑制をきたす治療を受けている方
- ⑤経口または注射の副腎皮質ホルモン剤を使用している方
- ⑥妊娠していることが明らかな方
- ⑦その他、医師が不適当な状態と判断した方

（2）予防接種を受けるに際し、担当医師とよく相談しなくてはならない方

- ①ゼラチン含有製剤またはゼラチン含有の食品に対して、ショック、アナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管性浮腫など）の過敏症症状を起こしたことがある方
- ②心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、呼吸器系疾患（重い喘息または喘息の症状）などの基礎疾患がある方
- ③過去に予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性の発疹などのアレルギーを疑う症状がみられた方
- ④過去にけいれん（ひきつけ）を起こしたことがある方
- ⑤過去に免疫不全の診断がされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑥服薬または食事（鶏卵、鶏肉、その他鶏由来のもの）で発疹が出たり、体に異常をきたしたことのある方
- ⑦発育が遅く、医師、保健師の指導を受けている方
- ⑧妊娠中または妊娠の可能性のある方（接種前1か月間避妊してない方）、授乳中の方
- ⑨サリチル酸系医薬品（アスピリンなど）、ジクロフェナクナトリウム、メフェナム酸を服用している方

（3）予防接種を受けた後の一般的な注意事項

- ①接種後は、ショック、アナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管性浮腫など）が起こる場合があります。健康状態に十分注意し、体調の変化、高熱などの異常な症状がある場合は、すぐに医療機関を受診してください。
- ②接種当日は、過激な運動を避けてください。なお、入浴は差支えありません。
- ③妊娠が可能な方は、接種後2カ月間は妊娠をしないように注意しましょう。
- ④接種後1～2週間は乳児や重度の免疫不全の方との接触を可能な限り控えましょう。